

地方公共団体	かすみがうら市
所在地	かすみがうら市大和田562番地
地域循環共生圏を活用して目指す地域の姿	「人と自然が寄り添い未来へ紡ぐ湖山(こざん)の郷(さと) かすみがうら」 豊かで美しい環境創造に努め、未来へつなぐまちづくりを推進します。
地域の現状・課題	<p><現状></p> <p>本市は、温暖な気候で南部には面積が日本第二位の霞ヶ浦があり、霞ヶ浦がもたらす水資源やワカサギなどの水産資源、周辺でのレンコン栽培などの農業、周辺に整備されたサイクリングロードなどの観光資源が活用されています。</p> <p>北部は筑波山地の南端部をしめる四季豊かな里山を有し、筑波山の採石場跡地を自然との触れ合いの場として整備した「雪入ふれあいの里公園」など、多種多様な自然環境から多くの恵みを受けています。しかし、近年の外来種増加による在来生物の捕食被害はワカサギ等の水産資源の漁獲量は減少。</p> <p>また、山間部には筑波山麓の麓にある「雪入ふれあいの里公園」は、水郷筑波国定公園の筑波山系の東端部に位置し、かつてブナの原生林がありましたが、地球温暖化に伴う気温の上昇により、現在のブナ林は他の樹種に置き換えられる可能性があります。</p>
地域が持つ資源	<p>1)地域の農林水産物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・霞ヶ浦からのエビ、ワカサギなどの水産資源 ・霞ヶ浦沿いに広がるハス田は全国的に有名なレンコンの一大産地 ・梨、葡萄、柿、栗、いちご などの果樹園と生産が盛ん <p>2)地域の環境スポット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・帆引き船を使った漁法は、歴史を知る上で極めて重要な文化遺産 ・歩崎公園周辺は水郷筑波国定公園に指定され、茨城の自然100選の一つ ・雪入ふれあいの里公園は多様な動植物の生態を観察、学習できます
取組内容	<p>1「自然との共生へ！きれいなまちづくり」 生物多様性を育み、農林水産などの営みを支え、将来にわたってこの恵みを楽しむことができるように、自然環境の維持と向上。</p> <p>2「よりよい環境へ！CO₂を減らそう」 きれいな空気や水、清潔で美しいまち並みを維持し、安心・安全な生活環境の保全。</p> <p>3「地域循環共生へ！SDGsを進めよう」 地球温暖化対策や4R、気候変動適応策を積極的に進め、地域循環共生圏の推進とカーボンニュートラル社会を実現。</p> <p>4「環境保全推進へ！みんなで言う環境づくり」 私たち一人ひとりが環境配慮や改善すべき行動をに取り組んでいきます。</p> <p>5「気候変動適応へ！まちも人も備えよう」 気候変動問題へ適応していくため、温室効果ガス排出の緩和と気候変動による影響に備えていきます。</p>
地域循環共生圏を実践することで想定される効果	<p>(環境)地球温暖化対策実行計画(区域施策編)と再生可能エネルギービジョンを今後策定し、2050カーボンニュートラルに向かいます。⇒市域のエネルギー構造の変換。</p> <p>(経済)豊かな水資源と台地からの恵みを活用した経済の発展が継続する好循環を形成していきます。⇒サーキュラーエコノミーによる利潤の向上。</p> <p>(社会)SDGs教育の充実、企業の環境CSRの推進、市民の環境意識の向上を促します。⇒将来にわたって持続可能な社会が構築される。</p>

湖・山・あり・あり。



霞ヶ浦と筑波山地の豊富な資源（湖山の宝）



自然の風を動力とする帆引き船



霞ヶ浦周辺は日本一のレンコンの産地



鳥や小動物が生息する雪入山